小学校　第４学年「算数科」シラバス

算数科の領域構成

次の４領域です。
○数と計算
○量と測定
○図形
○数量関係

４年生の目標

○除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
○面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
○図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
○数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

★評価の観点

①「算数への関心・意欲・態度」
数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。
→行動観察、発表、ノート、提出物等

②「数学的な考え方」
筋道を立てて考え表現したり考えを深めたりするなど数学的な考え方の基礎を身につけるている。
→行動観察、発表、テスト、ワークシート等

③「数量や図形についての技能」
整数や小数の計算技能を身につけ、図形を作図したり面積を求めたりする。
→ノート、テスト、ワークシート等

④「数量や図形についての知識・理解」
小数・分数・面積の意味を理解し、数量の関係の性質を理解する。
→テスト、ワークシート等

	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	１．１億より大きい数を調べよう	・億・兆の単位について知り、十進位取り記数法について学びます。
	２．角の大きさの表し方を調べよう	・角の大きさの単位と測定ついて学び、角を測定したりかいたりします。
	３．わり算のしかたを考えよう	・２～３位数を１位数でわる除法計算について理解し、計算問題を解きます。
	４．四角形をつくろう	・直線の位置関係や四角形について調べる活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形について学びます。
	５．変わり方をグラフに表そう	・折れ線グラフを用いて表したり特徴や傾向を読み取ったり、統計的な見方を学びます。
	６．そろばんで計算しよう	・そらばんについて理解し、整数や小数の加減計算をします。
	７．小数のしくみを調べよう	・小数の意味や加減法について学びます。
	８．わり算の筆算を考えよう	・整数の除法の計算について学びます。
後期	９．記録を見やすく整理しよう	・目的に応じて資料を２つの観点から分類整理して表にまとめたり、特徴を調べたりすることを学びます。
	１０．計算のやくそくを調べよう	・計算の順序に関わるきまりや四則計算に関して成り立つ性質について理解し、活用できるようにします。
	１１．広さを調べよう	・面積についての単位と測定、計算による面積の求め方を学びます。
	１２．分数をくわしく調べよう	・分数について理解し、同分母の分数の加減法を学びます。
	１３．どのように変わるかな	・２つの数量を表に整理したり、式に表したりして、関係性について学びます。
	１４．およその数の表し方を考えよう	・概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積もりの仕方を学んだりします。
	１５．小数のかけ算とわり算を考えよう	・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる計算の意味や計算の仕方を学びます。
	１６．箱の形を調べよう	・直方体や立方体、平面や空間のものの位置の表し方について学びます。